

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスエンカレッジ		
○保護者評価実施期間	R6年8月31日		～ R6年9月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名(14家族)	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	R6年8月31日		～ R6年9月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年9月24日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内の構造化を行っています。 視覚支援を沢山、取り入れています。	スケジュールの活用(将来、働く為に仕事の段取り・休みの過ごし方を自分で考える事が出来る為)を行っています。 口頭指示ではなく、トラジッションカードやリマインダーを使用し、見て自分で動ける・SOSを自分から出せるようになる為の練習を行っています。 気持ちを聞き出す際には、コミック会話も活用しています。	数名のスタッフが、カードの活用、コミック会話の活用ができるので、更にスタッフの質を上げていけるよう、研修等も行っていきます。
2	ICTの活用を行っています。	スケジュールにアイパットを活用しています。 PCも取り入れています。	ICT社会を生きる子ども達に、活用可能な分野を探っていきます。
3	最終的には、社会に出て自立する事を目標として、段階的に年齢に応じた療育を行っています。	1人1人の能力や特性に応じて、必要なプログラムのご提案や、それに基づいた個別支援計画の作成を行っています。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ビルの2階に事業所があり、バリアフリーではありません。	ビルの2階に事業所がある為、車椅子等での利用は難しい状況です。	事業所移転に向けて、今より良い場所を探しています。
2	親御さんの送迎の負担が大きいです。	理由としては、学校から帰ってきた我が子の様子を見て、療育を受ける事が出来る状態か判断して頂きたい事や、今から療育で頑張るお子さんを励まし、また車内での様子を見る・車内でのルールを守るという事を、教えて欲しい等の意図があり、送迎サービスは基本的には行っていません。	親御さんの急な体調不良や急用等で、送迎できないやむを得ない事情がある時は、送迎の手配が出来ないか検討をしています。(検討の結果、送迎できる時と出来ない時があります)
3			